

HiKOKI

取扱説明書

用途

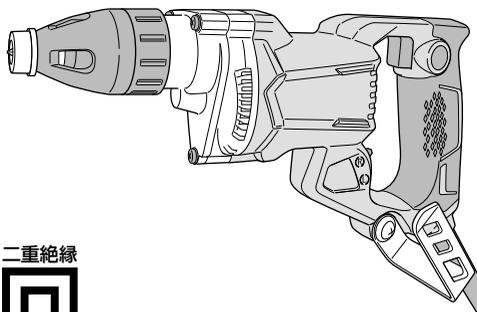
- ドライウォールねじの締付け・取りはずし

ボード用ドライバ

4 mm W 4SE

5 mm W 5SE

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
本製品の使用上のご注意	4
各部の名称	6
仕様	6

はじめに

ご使用前の準備	7
ご使用前の確認	8
フックの使い方	9
ビットの取りはずし・取付け	10
ねじを締める / はずす	11
保護機能について	13

使い方

保守・点検	14
ご修理のときは	裏表紙

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、**⚠注意**、**注**の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。**
電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ 子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

⚠ 警告

- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠ 警告

- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電源部と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなりま。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ボード用ドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 使用中は、振り回されないよう機体を両手で確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ 使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体やビットなどに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

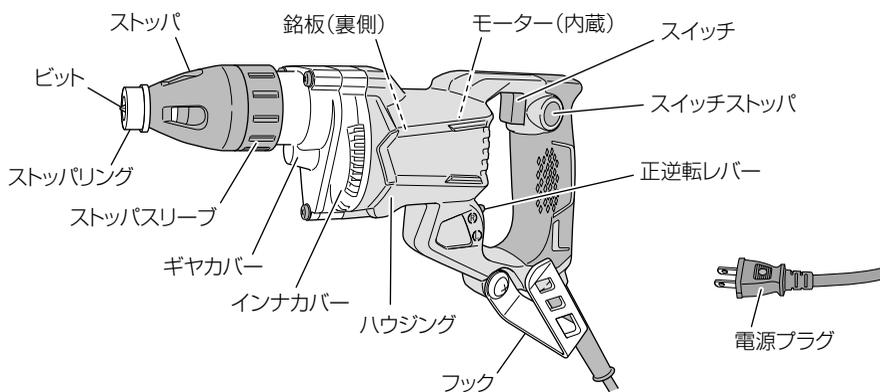
⚠️ 注意

- ① **工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② **締付け深さの調整時は、スイッチを切ってください。**
回転させたまま締付け深さを調整すると、けがの原因になります。
- ③ **高所作業のときは、下に人がいないことを良く確かめてください。**
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ④ **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。
- ⑤ **精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。**
動作不良、誤作動等をおこす原因になります。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称



標準付属品

品名	仕様	W 4SE	W 5SE
プラスドライバビット (No. 2、ハードタイプ)		1 本 (本体装着)	1 本 (本体装着)
フック		1 個	1 個

仕 様

形 名	W 4SE	W 5SE
能 力	4 mm	5 mm
無 負 荷 回 転 数	6,500 min ⁻¹ {回/分}	5,000 min ⁻¹ {回/分}
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
モ ー タ ー	ブラシレスモーター	
全 負 荷 電 流	4.7 A	
消 費 電 力	400 W	
質 量	0.9 kg (コードを除く)	
プラスビット長さ	45 mm	
コ ー ド	2心キャブタイヤケーブル 20 m	

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

本製品は二重絶縁構造のため、法令により漏電しゃ断器の設置は免除されています。しかし、万一の感電を防止するためにも漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。



延長コードは損傷のないものを用意してください。

コードの太さ (mm ²)	最大の長さ (m)
0.75	15
1.25	25
2	40

ご使用前の確認

⚠ 警告

ご使用前に次のことを確認してください。「コンセントの確認」以外は電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

● 使用電源の確認

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

● 締付けねじの確認

締付けねじがドライウォールねじであることを確認してください。

⚠ 注意

ドライウォールねじ以外のテクスねじ・木ねじは使用しないでください。大きな負担がかかり、ねじの破損や機体の故障の原因になります。

● コンセントの確認

電源プラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

● ドライバビットの確認

この機体には標準付属品としてプラスドライバビット (No.2、ハードタイプ) が組込まれております。

ビットの損傷により交換する場合は、P.10の「ビットの取りはずし・取付け」を参照し、ビットを交換してください。

注 ねじに合ったビットを使用してください。

ねじに合ったビットを使用しないと、ねじ頭部の十字溝とビットを傷める原因になります。

● スイッチの確認

スイッチは引くと入り、はなすと切れますので、スイッチを引き、はなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。

フックの使い方

フックは、作業の合間に腰ベルトなどに吊下げる機能を持っています。
左右に付け替えて使用することができます。

⚠ 警告

フックを使用するときは、工具本体が落下しないように、しっかりと掛けてください。

工具本体が落下すると、事故の恐れがあります。

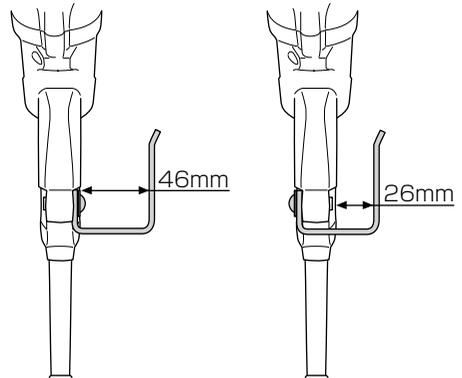
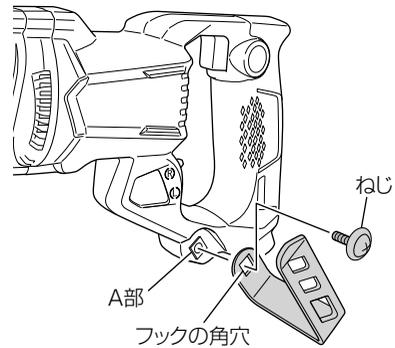
⚠ 注意

フックはしっかりと取付けてください。
フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。

フックの角穴をA部にはめ込み、プラスドライバーを使用してねじをしっかりと締付けてください。

フックの取付位置を変えることにより、機体からの寸法を26 mmと46 mmに設定することができます。

フックは腰ベルト、または最大径46 mmまでのパイプなどに掛けることができます。



ビットの取りはずし・取付け

⚠ 警告

ビットの取りはずしや取付けの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

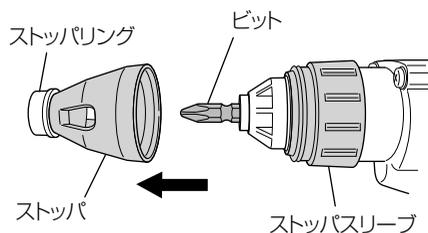
注 新品と交換の際は、必ず弊社プラスビットを使用してください。

弊社プラスビットを使用しないとビットの先端が振れやすくなり、ドライウォールねじがビットからはずれやすくなります。

ビットの取りはずし

ストップスリーブを手でしっかりと押さえ、ストップを矢印方向に引き、ストップスリーブから取りはずします。

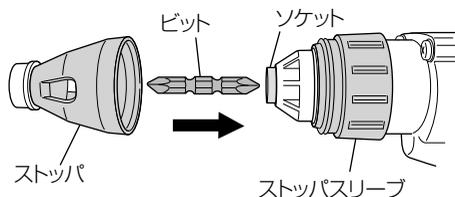
ビットの先をペンチなどで引抜いてください。



ビットの取付け

ビットをソケットの穴に合わせて十分に押し込みます。

ビットを取付けましたら、ストップスリーブを手でしっかりと押さえ、ストップをストップスリーブに取付けます。



ねじを締める / はずす

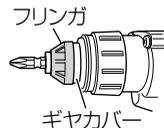
ドライウォールねじの締付け、
取りはずし

⚠ 警告

- 使用中は軍手など巻込まれる恐れのある手袋を使用しないでください。ねじやビットなどに巻込まれ、けがの原因になります。
- スイッチが入っている状態で、ねじをビットに合わせるとき、ビットを本体方向に押し込まないでください。ビットが回転し、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビットは高温になっているので触れないでください。
- フリンガをはずして使用しないでください。



注 運転中は正逆転レバーの切替えはできません。切替える場合は、必ずスイッチを切ってから操作してください。

ねじを締める

1 回転方向を正転(R)に合わせる

(P.12「正逆転レバーについて」参照)

ねじをはずす

1 回転方向を逆転(L)に合わせる

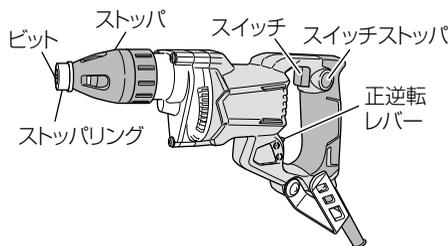
2 ねじを締める



- ねじの十字穴に正しくビットをはめ、取付面にねじの先端を当てて、垂直に押し付けながらスイッチを引きます。または、スイッチを引きながら、垂直に押し付けます。
- 締め終わりましたら、押し付け力をゆるめるとビットの回転が止まります。(P.12「スイッチについて」参照)

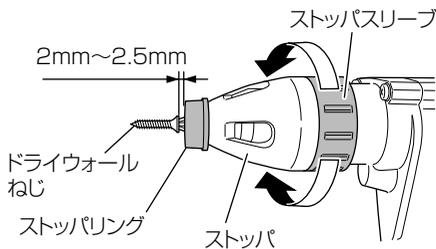
2 ねじをはずす

- ねじの十字穴に正しくビットをはめて、スイッチを引きます。
- ビットがねじの十字穴に入りにくいときはストッパをはずして、作業をしてください。



● 締付け深さの調整

- (1) ビットにドライウォールねじの十字穴を正しく入れ、ストップスリーブを回して、ストップリングとねじ頭との距離が2mm～2.5mmになるように、調整します。
- (2) 数本試し締めし、ちょうどよい距離に微調整してください。

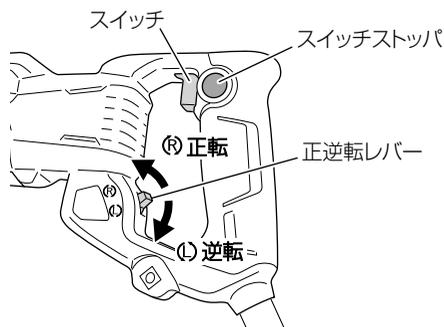


注 ストップの先端に装着してあるストップリングは、石こうボードにドライウォールねじを締付けする際にご使用ください。石こうボード表面の損傷防止に効果があります。

● 正逆転レバーについて

正逆転レバーを(R)側に倒すとビットはハンドル側から見て右に回り(正転)、(L)側に倒すと左に回ります(逆転)。

- 注** 回転方向を変えるときは、必ずスイッチを切ってモーターの回転が止まってから、正逆転レバーを操作してください。
- スイッチを切らずに正逆転レバーを切替えると、停止します。一度スイッチを切り、再び入れると起動します。



● スイッチについて

正逆転レバーが正転(R)の場合

スイッチを引くとモーターが回りますが、ビットは回転しません。ビットの先端をねじ頭部の溝に当て、押し付けると、ビットが回転してねじを締めます。

正逆転レバーが逆転(L)の場合

スイッチを引くだけでビットの先端をねじ頭部の溝に当て押し付けなくても、ビットが回転します。

スイッチストップについて

スイッチを引いてからスイッチストップを押すと、スイッチをはなしても固定され連続運転になります。停止させるときは、もう一度スイッチを引いてからはなしますと連続運転が解除されます。

保護機能について

警告

原因がはっきりせず、たびたび保護機能が作動するときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

注 保護機能の作動を繰り返すと、機体が故障する原因になります。

機体を保護するため、問題が発生したときは、保護機能が働いて自動停止します。各状態は以下のようになっています。

保護機能	内容と対応
逆転連続防止	逆転で1分間以上連続して運転したとき、機体の故障を防ぐため停止します。 一度スイッチを切ると復帰します。
過負荷	大きな負荷がかかったとき、機体の故障を防ぐため停止します。 過負荷となる作業を止めて、一度スイッチを切ると復帰します。
温度上昇	内部の温度が規定温度を超えたとき、高温による故障を防ぐため停止します。 大電流が連続で流れる作業や、高温環境で急激な連続作業をすると、内部の温度が高くなります。 10～15分ほど機体を休めてから使用してください。
OVリリース	スイッチを入れた状態で、コンセントにさし込んでも起動しません。

保守・点検

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ビットの点検

先端部が摩耗したり折損したビットを、そのまま使用すると、ねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

●モーター部の取扱いについて

内蔵のモーター部 (P.6「各部の名称」参照) に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●お手入れする

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未滿で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>